★ 提案 64 の賛成意見 ★

提案 64 は成人の大麻使用について、安全で合法な総合的な体系を作り、子どもたちを守ります。

大麻は California 州内のほとんどどこでも入手できますが、子どもたちへの保護がなく、製品の安全性を保証するものもなく、州の税収もありません。

提案 64 は成人の大麻使用を制御・規制し、大麻使用に対して課税し、大人が責任をもって使用することで犯罪を終わりにします。

California 医療協会は、提案 64 は、すでに合法化された成人の大麻使用と、法執行や公衆衛生の専門家を含む、California の大麻方針に関するブルーリボン委員会（Blue Ribbon Commission on Marijuana Policy）の推薦事項を厳密に遵守して州内の最良実施例を統合するので、支持しています。

提案 64 の内容：

- 本法律に従って、21 歳以上の成人は医療以外の目的で少量の大麻所持と、個人使用の目的で自宅で少量の大麻栽培が許可されます。医療用以外の大麻販売は、高度の規制を受けた公認の大麻ビジネスのみに限り合法で、21 歳以上の成人のみが入店を許可されています。飲み屋における大麻の販売は禁止されており、酒屋や食料品店での販売もできません。

子どもの保護：

- 麻薬商人は年齢証拠書の提示など求めませんし、今日、危険な薬物や化学物質が混ぜられている大麻を販売できます。提案 64 は、購入者 21 歳以上、直接的な子ども対象の広告禁止、明確な表記、安全保証のための独立製品検査などを義務付ける国内で最も厳しい、子どもへの保護を含みます。提案 64 は学校の近辺にある大麻ビジネスを禁止します。

無所属の立法部の分析家によると、提案 64 は歳入増加と経費削減の両方の効果があるということです。これまで未納だった大麻の税金を徴収することで、毎年、10 億ドル以上が California 州の役に立ちます。また、法執行経費から年間何千万ドルを節約できます。これらを合わせると今後数十年で、110 億ドルのプラスになります。

- 提案 64 はこれまで、資金の歳出先を指示しなかった法案の間違いを修正します。本法案は代わりに、資金の歳出先を限定します。提案 64 は特に、政治家が長年暖めてきた計画に資金が流用されないようにします。
- 提案 64 は、就職あっせん、職業訓練、メンタルヘルス治療などを含む子どもたちのための放課後プログラム、アルコールや麻薬の中毒治療などを含むティーンのための麻薬防止教育、運転能力の落ちたドライバー取り締まりなどを含む法執行機関の訓練や研究資金などのために数十億ドルを生み、それだけでこれらを支払うことができます。今後数十年で、これらのプログラムは数十億の歳入を得ます。

毎年、大麻の販売が増えている California 州では、重犯罪による逮捕が 8,800 件以上に上り、長期にわたる実刑判決になるものもあります。これは膨大な法執行資源の浪費です。提案 64 は、大麻による人生の没落を阻止します。

一般常識の規制を提示する厳しい提案 64 は、副知事 Gavin Newsom、民主党及び共和党議会議員、LEAP（Law Enforcement Against Prohibition）、California NAACP（全国有色人種向上協会）、California 州民主党、その他多数を含む、大麻改革を支援するかつてないほど最大の連合が支持しています。

私たち州民は、大麻に対する California 州の現行対策は状況にかなわないことを知っています。破たんしたシステムに終止符を打ち、大麻が安全に制御・課税されるように実績ある改革を実施するときです。

DR. DONALD O. LYMAN、前慢性疾患・傷害防止主任
California 州公衆衛生省

GRETCHEN BURNS、エグゼクティブ・ディレクター
保護者のための薬物中毒治療・治癒

STEVEN DOWNING、前副署長
Los Angeles 警察署

★ 提案 64 の賛成意見に対する反論 ★

提案 64 が有効になれば、45 年間にわたるテレビの喫煙広告禁止が制限され、何十万という子どもやティーンの視聴者が大麻の広告を目にすることになります。これらの広告は、オリンピック、「ザ・ヴォイス（The Voice）」、「ビッグバン☆セオリー」など、若年視聴者に人気の高いその他数百もの番組で放送されることになります。

これら大麻喫煙の広告は、ゴールデンタイムのテレビ番組とおよそ 95% を占めるテレビ放送番組で放送される可能性があります。子どもたちは、Colorado 州における緊急外来受診数の急上昇の原因とされているのと同じグミ、ブラウニーなどと共に、大麻を促進する広告を目にすることになります。

たばこのテレビ広告を禁止したのは、子どもたちが喫煙を始めるように奨励しているという調査結果が出たからです。大麻喫煙のテレビ広告は禁止にしておくべきでしたが、提案者は推定数十億という膨大な利益を制限したくありませんでした。たばこ資金のように、提案 64 によって生まれた専売の会社はその資金を使って政治家に献金し、提案 64 が与えるであろう損害を取り戻すことができなくなります。

アメリカ小児科医学会薬物乱用委員会の会長 Sharon Levy（M.D.、FAAP）氏は次のように警告します。「喫煙による健康被害はどうしようもないものでしたが、この認識を確立するのに数世代、数百万人の人生、数十億の資金がかかりました。私たちがすでに知っている大麻の青年期への害を前提として、「その無害が実証されるまで」考慮すべきではありません。」

この改革後、大麻所持のためだけで、California 州内の刑務所に残る者は*誰一人としていません*。提案 64 の根底は、数十億という資金を作るために、子どもたちに悪影響を与えようとしています。

提案 64 に「反対票」を投じてください。

KATIE DEXTER、元会長
San Diego 郡学校役員会協会

JOHN QUINTANILLA、役員会会員
Rosemead 教育区

CYNTHIA RUIZ、役員会会員
Walnut Valley 統合教育区

本ページに印刷されている反対意見は、著作者の意見であり、公的機関によってその正確性については調査されていません。

★ 提案 64 の反対意見 ★

提案 64 には、皆さんや皆さんが大事に思う人々に直接な影響を与える大きな欠点が五つあります。

欠点第 1：幹線道路事故の死亡者数を倍にする。

AAA Foundation for Highway Safety（AAA 幹線道路安全財団）の報告によると、大麻関係の自動車事故が原因の死亡は、Washington 州が合法化を承認してから、倍に増えているということです。それにもかかわらず、提案 64 の提案者は大麻に DUI 基準を取り入れることを拒否しており、幹線道路から運転能力の落ちたドライバーを防止することを非常に難しくしています。

欠点第 2：学校や公園近辺での大麻使用増加を許可する。

提案 64 は実際、大麻栽培が植物六本まで（これはたくさんの大麻です）に制限されていれば、小学校の隣りであっても、地方政府による住居室内での大麻栽培の禁止を禁じています。California 警察本部長協会は次のように加えます。「文字通り、小学校や遊び場の隣りであっても、大麻の室内栽培を許可することで、提案 64 は地方の制御を踏みにじっています。」

欠点第 3：闇市場や麻薬カルテルの活動を減らすのではなく、増やすことになる。

「Colorado 州では大麻の合法化以来、組織化された犯罪の提訴が急増しています」と、Colorado 警察本部長協会の元会長 John Jackson 氏は言います。「2007 年の提訴は 1 件でしたが、2015 年には 40 件になりました。提案 64 は、重罪の有罪判決があるヘロインやメス商人による合法な大麻ビジネスへの参入禁止を撤廃するので、California 州ではかなり悪化するかもしれません。」

欠点第 4：テレビの喫煙広告全面禁止を後退させるかもしれない。

テレビのたばこ広告は何十年にもわたって禁止されてきましたが、提案 64 は何百万人もの子どもやティーン視聴者向けのテレビ番組やゴールデンタイムに大麻の喫煙広告を許可します。

欠点第 5：提案 64 は、すでにアルコールや薬物中毒の問題で動揺している恵まれない地域に対する総攻撃です。

スラム地区にある 5,000 の教会を代表する国際宗派に基づく連合の司教 Ron Allen 氏は、提案 64 を「マイノリティに対する攻撃」と呼び、「貧困地域で開業する大麻の店の数を制限しないのはなぜでしょうか？これからは、酒屋 2 件と一連の大麻の店がブロックごとに見られるようになりますが、食料品店にたどりつくことはできません。提案 64 は、保護者としての務めを難しくするだけです。」

要するに、提案 64 は他州で合法化した法案とは根本的に異なるもので、昨年可決したばかりで州知事 Brown 氏が署名して法を成立させた消費者の無数の保護を悪化させる可能性があります。

以下の提案者の反論で、これら五つの質問に答えていなければ、妥当な決定は「反対投票」を投じるだけです。

1. CHP 担当官が道路から運転能力の落ちたドライバーを防止するために、主導権に DUI 基準がないのはなぜですか？「調査」を委任するだけでは十分ではありません。
2. 提案 64 が、遊び場や学校の隣りであっても、大麻の室内栽培を許可するのはなぜですか？
3. 提案 64 が、重罪の有罪判決があるヘロインやメス商人に大麻の販売を公認するのはなぜですか？
4. 提案 64 が、テレビの大麻喫煙広告を許可するのはなぜですか？
5. 単一の地域で開業する大麻の店の数を制限しないのはなぜですか？

これは、また、間違えです。提案 64 に「反対」投票を投じることを強く要請します。

事実については、*www.NoOn64.net* をご覧ください。

DIANNE FEINSTEIN、国会上院議員
DOUG VILLARS、隊長
California 高速道路巡察隊
C. DUANE DAUNER、会長
California 病院協会

★ 提案 64 の反対意見に対する反論 ★

大麻の改革にいつも反対するグループの脅し作戦ではなく、事実に目を向けてください。

- 大麻の合法化は青少年の大麻使用を*減少*したという証拠があります。提案 64 には、警告表示規制や子どもが開けられない包装のほか、子どもから離したり公の場から見えないようにするなど大麻の広告を規制して、国内で最も厳しい子どもの保護が取り入れられています。
- 提案 64 には、テレビの大麻広告を合法にするものは*ありません*。連邦法がそれを禁止しています！
- 大麻を合法化した州において、運転能力の落ちた運転が*増えた*という絶対的な証拠はありませんし、衝突の危険性も増えていません。Colorado 州の公安局と国家道路安全交通安全局の両者は次の点を確認しました。

提案 64 に賛成票を投じる理由：

- 64 は、法執行機関が危険な運転を取り締まるための機器と訓練に数百万ドルを投資します。California 高速道路巡察隊の指示の下で、ドライバーの機能障害を測定するために、総合的な法基準を開発する新資金を割り当てます。
- 64 は、大麻事業認可証の資格を決定する取締官の第一優先順位である公衆衛生の保護を可能にします。
- 64 は地方の制御を守ります。
- 64 は州知事が署名した消費者の保護を確立します。

無所属の立法部の分析家によると、提案 64 は歳入を増加し、経費を削減するということです。超党派の立法者は、安全に合法化された州の最良実施例を基にしているので、提案 64 を支持しています。

「私は大麻を使用しませんし、17 歳の息子にも使ってほしくはありません。提案 64 は、現行のものよりもはるかに子供たちを守ってくれるのは明確なので、賛成票を投じます」と、Los Angeles 在住の母親 Maria Alexander さんは言います。

詳細は *YesOn64.org* をご連絡ください。

下院 TED LIEU、前軍検察官
MARSHA ROSENBAUM、Ph.D.、共同議長
青少年教育・防止実施グループ、
大麻方針に関するブルーリボン委員会
DR. LARRY BEDARD、前会長
米国緊急医学会